

2025年度 解答速報

久留米附設中学校入試【国語】

2025年 1月25日実施

国語

- 一 (例) Aには積み木が成功しても失敗しても喜ぶ子供の様子が描かれている。また、Bにはどこへ行くわけでもないのに走ることをただ楽しんでいる子供の様子が描かれている。これら両方の場面を通して、大人のブタは、今、目の前にあることを全力で楽しむのが大切であることを学んだと考える。人間は成長するにしたがい、固定観念や先入観を持って物事を見てしまいがちだが、私はいつまでも子供の純粋さや無邪気さを忘れないようにしたい。
- 二 問一 ① 九 ② ア 簡〔便〕 イ 〔便〕 乗 ウ 方〔便〕 問二 ① 粉 ② 気 ③ 都
問三 ① ニ ② ロ ③ チ
問四 ① オ ② ウ
- 三 問一 a 訪 b 昨今 c 視野 d 検証 e 過程 問二 A ニ B ロ C ハ
問三 I (例)現場対応的で複雑な II (例)能率的とはいえない
問四 今の伐採箇所や伐採量のみ
問五 「伐採をいかに
問六 IV イ V (例)疑いの中に新しい事実を求めようと自分を変化させていく
問七 ア・オ 問八 私たちは知らな
問九 VI (例)具体例 VII (例)環境問題という、より抽象的な
- 四 問一 群
問二 (例)ノータンキでユニークな本当の自分ではなく、みんなと仲良くするために装った自分
問三 ア × イ × ウ ○ エ ○ オ ×
問四 学校にいる時の自分の気持ち 問五 ウ
問六 (例)周りに合わせてまで自分の苦手なことを無理してしなければならないことが苦痛だ
問七 (例)一緒に遊ぶことに乗り気ではなかったが、先生に呼び出されて断る口実ができたことに喜ぶ気持ちを、まずみちゃんに悟られまいとした〔から。〕
問八 (例)不安や迷いやつらさを感じてはいないか
問九 エ

【講評】

- 一 2年連続で200字作文が出題された。「子供の偉大さから学ぶの図」という4コママンガA・Bの2つを通し、大人のブタが子供のブタから学んだことを自分の言葉で説明する問題であった。A・Bに共通することを考えなければならないのが難しかった。
- 二 語句の問題。幅広い分野から出題されており、高度な語彙力が問われている。問一②の「便」という漢字を含む二字の熟語を考える問題は難しかった。
- 三 林 健『森の心 森の智慧』から出題された。四国のある山村での筆者自身の体験を通して得られた、環境問題への考察を述べた随筆文であった。問八、問九は、文章全体の構成をとらえて答える問題であった。
- 四 蟹江杏『あの空の色がほしい』から出題された。言葉でうまく表現できなかった自分の思いを絵で表現できた、という少女の心の成長を描いた小説文であった。問六は、理由問題で比喻表現を説明しなければならない問題であった。問七は、内面を外見でとりつくり主人公の様子を対比的にとらえて書かなければならず、難しい問題であった。なお、大問四の文章は、この直前の場面を入試の数日前に英進館では扱っている。
- ★今年度は、昨年度に比べると文章量が減り、取り組みやすくなつた。しかし、高度な語彙力・読解力・記述力・スピードが求められる問題であることには変わりがなく、総合力の問われる問題である。